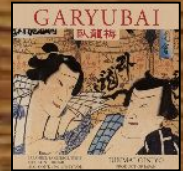


# 『臥龍梅』 蔵便り

平成二十八年卯月



拝啓 いつの間にやら春もたけなわとなりました。もう、お花見には出かけられたでしょうか。

今月もご報告することが盛りだくさんです。3月25日から27日まで韓国ソウルに出張してまいりました。**SEOUL SAKE FESTIVAL** というお酒のイベントに参加するためです。期間は26日、27日の二日間ですが、参加蔵元は93社と昨年9月に台北で開かれたイベントより更に多く、盛り上がりが期待されます。25日の午後、ソウル金浦空港に着いてカンナム地区のホテルにチェックインすると、事前準備のため早速通りを挟んで向かい側にある**COEX MALL** というイベント会場に向かいました。ところが、イベントホールだけでも10数か所、フードコートも抱える巨大施設で予定の会場にたどり着くまで四苦八苦しました。だだっ広い会場内で暫し待つうちに韓国内の特約店、熊谷酒類(株)の社長さんとスタッフの皆さんが顔を見せ、お酒や販促物品を搬入してブースの飾りつけを手伝って下さいました。その晩は同じ熊谷酒類(株)さんの取り扱い銘柄数社とともに焼肉店で交歓会を催しました。翌26日は9時半に会場に集まって通訳のスタッフを交えて打ち合わせをし、11時のオープンを迎えました。最初はちょっと出足が悪いかなと懸念しておりましたが、12時過ぎには会場内満員の盛況となりました。お客様は、入り口で渡された日本酒グラスとパンフレットを持って順繰りに利き酒して回ります。会場内には焼き鳥からお豆腐、コロッケ、ラーメン等、日本料理のブースが出揃い、おなかを空かせた皆さんが小腹を満たしているところは日本国内のお酒の会と変わりません。ただし、各ブースの脇に設けられた**はき**を使う方はほとんどおりません。最初から雄町の純米大吟が飲みたい、山田錦の純米大吟がほしいと指名されるお客様も多数おられ、日本酒の人气が定着してきていることが実感されました。中にはわが臥龍梅ブースに4回もお越しになった女性のお客様もおられ、「これだけ数ある中でこんなに何度もお見えになるのだから、きっと一番美味しいと思ったのでしょうね」と通訳の女性も驚いておりました。初日の来場者数は1,500人超だそうで、日本円で2千円程の会費と考え合わせるとまずは大盛況です。ところで、日本国内で720ml 壺1本の小売価格が1,450円の臥龍梅の純米吟醸酒が、韓国内の居酒屋さんではなんと12,000円ほどで販売されているのだそうです。TPPでもFTAでも構いませんが、とにかく韓国の皆さんにわが臥龍梅をもっと気軽なお値段で提供できる日が早く来るようにと祈りながらソウルを後にしました。さて、今月4月16日(土)にはびあ日本酒フェスティバルの他に、同じ東京で開催される**第4回日本酒利き歩き**にも参加いたします。どちらかでお会いいたしまししょう。



在韩国日本大使、ミス日本酒とともに



今月は皆様お待ちかね、**山田錦 55%の純米吟醸袋吊り雫酒、備前雄町 50%の純米大吟醸袋吊り斗壺囲い**をご案内いたします。どちらも自信を持ってお奨めする出来栄です。お早めにお求めください。

春陽の候、皆々様にはますますお元気で過ごされんことを。

敬具

平成28年4月吉日

鈴木 克昌